

製品名: リン酸化 Smad3 (Ser425) (7H6) マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM00766

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	SMAD3 SMAD3; MADH3; Mothers against decapentaplegic homolog 3; MAD homolog 3; Mad3;
別名	Mothers against DPP homolog 3; hMAD-3; JV15-2; SMAD family member 3; SMAD 3; Smad3; hSMAD3
遺伝子 ID	4088
SwissProt ID	P84022
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

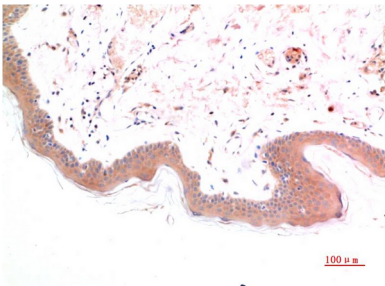
背景

Smad3 転写因子は、TGF- β 型受容体によってリン酸化・活性化されます。受容体制御型 Smad (R-Smad) は、標的遺伝子のプロモーター領域にあるコンセンサス DNA 結合エレメントに直接結合します。マウスでは、粘膜免疫応答の確立と骨格の適切な発達に必須です。

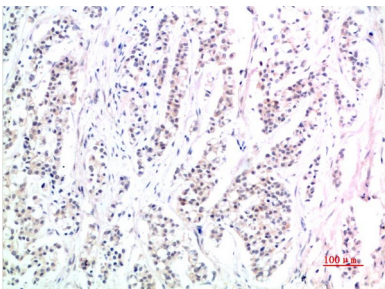
研究分野

シグナル伝達

画像データ



リン酸化 Smad3 (Ser425) (7H6) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト皮膚組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



リン酸化 Smad3 (Ser425) (7H6) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。